

平成29年9月24日（日）

日 本 緑 化 工 学 会

平成 2 9 年 通常総会

名古屋大学 環境総合館 3階講義室2
(名古屋市千種区不老町)

－ 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 案
 - (1) 第一号議案 平成28年度事業報告
 - (2) 第二号議案 平成28年度決算報告
 - (3) 第三号議案 平成29年度事業計画案
 - (4) 第四号議案 平成29年度収支予算案
 - (5) 第五号議案 役員の改選
 - (6) その他
5. 閉 会

第一号議案

日本緑化工学会 平成 28 年度事業報告

(平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日)

1. 第 47 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 28 年 9 月 30 日～10 月 2 日

開催地： 京都府立大学 稲盛記念会館（京都府京都市左京区下鴨半木町 1-5）ほか

大会参加者： 250 名 懇親会参加者：106 名

発表題数： 105 題（論文 22、技術報告 36、研究交流発表 47）

口頭発表 22 件 （論文 13、技術報告 9）、

ポスター発表 83 件 （論文 9、技術報告 27、研究交流 47）

優秀ポスター賞： 4 件（論文 1、技術報告 1、研究交流発表 2）

※ 第 48 回大会は日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会 3 学会の合同大会
【ELR2017 名古屋】として平成 29（2017）年 9 月 22 日～25 日に名古屋大学にて開催

2. シンポジウム

(1) 第 47 回大会 シンポジウム

開催年月日：平成 28 年 10 月 1 日（土） 15：30 ～ 17：45

開催地：京都府立大学 稲盛記念会館 104 講義室（京都府京都市）

テーマ：「在来緑化植物の種苗はどこまで移動可能なのか？」

参加人数：200 名

(2) 第 47 回大会 合同研究集会

開催年月日：平成 28 年 10 月 2 日（日） 14：30～16：00

開催地：京都府立大学 稲盛記念会館 104 講義室（京都府京都市）

企画担当・話題提供：日本緑化工学会研究部門，防災緑化研究部会，

斜面緑化研究部会，生態・環境緑化研究部会，緑・健康研究部会

テーマ：「熊本地震災害から考える“緑”のはたらき」

参加人数：200 名

3. 現地見学会

(1) 第 47 回大会現地見学会 「六甲山系の治山緑化～100 年の計の今昔～」

開催年月日：平成 28 年 9 月 30 日（金） 12：20～17：30

見学地：神戸市再度山植林事業地，国土交通省六甲山系グリーンベルト整備事業地

参加人数：28 名

(2) 平成 28 年度現地見学会 「福島県での海岸林再生の現状」

開催年月日：平成 29 年 2 月 24 日（金）

共催：公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

参加人数：22 名

4. 研究会等（研究部会主催）

(1) 第 47 回大会研究集会 企画担当：山田 晋ほか

開催年月日：平成 28 年 10 月 2 日（日） 13：00～14：30

開催地：稲盛記念会館 104 講義室（京都府京都市）

テーマ：「河川における生物多様性に配慮した堤防植生管理」

話題提供：4 題 参加人数：200 名

(2) 斜面緑化研究部会 「生物多様性保全に配慮した緑化事例」勉強会

① 第 3 回 第 47 回大会研究集会として開催

開催年月日：平成 28 年 10 月 2 日（日） 16：00～17：00

開催地：稲盛記念会館 104 講義室（京都府京都市）

② 第 4 回

開催年月日：平成 29 年 3 月 31 日（金） 16：00～18：00

開催地：京都大学農学部総合館 3 階 W306 講義室（京都市左京区）

③ 第 5 回

開催年月日：平成 29 年 6 月 30 日（金） 15：00～17：00

開催地：東京農業大学世田谷キャンパス 1 号館 111 教室（東京都世田谷区）

(3) 都市緑化技術研究部会 講演会を開催

開催年月日：平成 28 年 10 月 12 日（水）13：00～17：00

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター レセプションホール（東京都渋谷区）

テーマ：「グリーンインフラを活用した新しい街づくりに向けて」

参加人数：320 名

(4) 乾燥地緑化研究部会 乾燥地緑化研究部会第 22 回シンポジウムを開催

開催年月日：平成 29 年 1 月 22 日（日）13:30～17:00

開催地：東京都市大学二子玉川夢キャンパス（東京都世田谷区）

テーマ：「乾燥地の生態系とその課題」6. 西アフリカの乾燥・半乾燥地における緑化への取り組み

参加者数：23 名 共催：日本沙漠学会、東京都市大学

(5) 生物多様性緑化研究部会 明治大学地域連携事業シンポジウムの後援

「多摩川がつくった自然」（平成 29 年 3 月 11 日・明治大学）

(6) 生態・環境緑化研究部会 現地見学会およびシンポジウムを開催

テーマ：「熊本地震災害から学ぶ“緑”の役割とその再生」

後援：熊本県、環境省、国土交通省九州地方整備局、熊本大学、応用生態工学会

① 現地見学会

開催年月日：平成 29 年 3 月 18 日（土）12：00～19：00

見学地：阿蘇地域（熊本県） 参加者数：20 名

② シンポジウム

開催年月日：平成 29 年 3 月 19 日（日）10：00～14：00

開催地：水前寺共済会館グレースシア 芙蓉（熊本県熊本市）

演題：6 参加者数：70 名

(7) 積雪寒冷地緑化研究部会／斜面緑化研究部会／防災緑化研究部会 合同企画シンポジウム

開催年月日：平成 29 年 5 月 13 日（土）

開催地：帯広畜産大学大講義室（北海道帯広市）

テーマ：「平成 28 年 8 月豪雨災害から見た緑化の役割」

演題：7 参加者数：80 名

共催：農業農村工学会北海道支部

後援：北海道開発局帯広開発建設部、北海道十勝総合振興局、帯広畜産大学、北海道造園緑化建設業協会、十勝毎日新聞社

5. 学会誌の発行

(1) 第 42 巻 1 号：平成 28 年 8 月 31 日発行 276 ページ（第 47 回大会特集号）

(2) 第 42 巻 2 号：平成 28 年 11 月 30 日発行 110 ページ

(3) 第 42 巻 3 号：平成 29 年 2 月 28 日発行 100 ページ

(4) 第 42 巻 4 号：平成 29 年 5 月 31 日発行 94 ページ

※第 42 巻 2 号に寄稿特集「日本法面緑化研究会・日本緑化工研究会・日本緑化工学会の 50 年に寄せて」を掲載

第 42 巻 3 号に特集「グリーンインフラを活用した新しい街づくりにむけて」および「河川における生物多様性に配慮した堤防植生管理」を掲載

第 42 巻 4 号に特集「積雪寒冷地における緑化工技術の課題解決に向けて」を掲載

第 42 巻 4 号より新企画「LEE navi」掲載開始

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行

- (1) Vol. 13 No. 1 : 平成 29 年 1 月発行 1-212 ページ (18 編)
 - (2) Vol. 13 No. 2 : 平成 29 年 7 月発行 213-333 ページ (10 編)
- 2016 年の Impact Factor の係数は 0.692

7. 平成 28 年度日本緑化工学会賞の授与

論文賞 : 鈴木 弘孝 氏

「壁面緑化による温熱環境改善効果に関する一連の研究」

論文賞 : 中村 剛 氏

「表土利用工および自然侵入促進工による緑化斜面の植生回復に関する研究」

技術賞 : 入山 義久 氏

「緑化植物の種子生産及び性状・性質に関する研究と開発」

技術賞 : 田中 淳 氏

「法面におけるクズの管理方法に関する一連の技術開発」

技術賞 : 福田 尚人 氏

「地域自生種を用いた寒冷地法面の緑化工技術の開発と普及」

功績賞 : 丸山 純孝 氏

8. CPD

(1) 緑化・環境 CPD 協議会 会員数 893 名 (うち当学会員 695 名)

(2) 講習会などの認定と、CPD 参加証明書の発行

今期の CPD 認定行事による CPD ポイントの認定は、合計 65.0P となった。

緑化工学会が、シンポジウム 大会 研究集会などを実施し、45.5P 発行した。

国土環境緑化協会連合会が講習会を 6 回実施し、10.5P 発行した。

NPO 法人日本緑化工協会が講習会を 1 回実施し、9.0P 発行した。

各会場で、CPD 参加証明書の発行を行った。

(3) CPD プログラム認定委員会

プログラム認定を随時行った。

(4) その他

ホームページを適宜更新し、認定行事の広報を行った。

9. 学会広報事業

(1) HP 運営ワーキンググループによるホームページの運営

(2) 公式ブログの運営と記事の企画・収集 <http://blog.canpan.info/jsrt/>

(3) メールによる案内「ニュースメール」の配信

アドレスが登録されている個人会員と、登録要請のあった賛助会員へ連絡事項を配信

10. 研究部門におけるその他活動

(1) 防災学術連携体における活動

55 学会が参画している日本学術会議の防災学術連携体へ 2016 年 8 月に加入。担当委員は、防災緑化研究部会幹事の小川泰浩理事、田中賢治理事の 2 名。

1. 第 2 回防災学術連携シンポジウム「激甚化する台風・豪雨災害とその対策」にて話題提供
(担当：阿部和時)

日程：2016 年 12 月 1 日 開催地：学術会議講堂（東京都港区）

2. 日本学術会議主催公開シンポジウム／第 3 回防災学術連携シンポジウム

「熊本地震・一周年報告会」にてポスター発表（担当：内田泰三）

日程：平成 29 年 4 月 15 日 開催地：熊本県庁

11. その他事業

- (1) 応用生態工学会第 20 回大会（平成 28 年 9 月 2 日～5 日・東京都文京区）の後援
- (2) あまみずコーディネータ養成講座（平成 28 年 12 月 17 日・18 日・福岡大学）の後援
- (3) 福島県森林・林業・緑化協会「海岸防災林再生シンポジウム ～県民参加による海岸林再生」の後援
開催年月日：平成 29 年 1 月 31 日（火）
開催地：アクティブシニアセンター多目的ホール（福島県福島市）
- (4) 建築学会主催の水環境シンポジウム「市民のための蓄雨とグリーンインフラ」（2017 年 2 月 25 日・東京都港区）の後援
- (5) 日本緑化工協会主催「第 38 回緑化工技術講習会」の後援
開催年月日：平成 29 年 1 月 30・31 日
開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
備考：講師派遣
- (6) 明治大学農学部シンポジウム「多摩川がつくった自然」（平成 29 年 3 月 11 日・明治大学）の後援
- (7) 土木における木材の利用拡大に関する横断的研究会の提言「土木分野における木材利用の拡大に向けて」（3 月 22 日）への賛同
- (8) （一財）日本造園修景協会京都府支部 30 周年記念事業・第 2 回リレーシンポジウム／「緑の文化 その伝統と創生 ～公園緑地の魅力創造に向けて～」（平成 29 年 7 月 29 日・京都府立大学）への協力

12. 会員数（平成 29 年 7 月末現在。括弧内は←前年度末、←前々年末の数、←前々々年末の数）

- (1) 名誉会員： 6 名 （ ← 7 名 ← 7 名 ← 4 名）
- (2) 正 会 員： 606 名 （ ←613 名 ← 609 名 ← 637 名）
- (3) 学生会員： 99 名 （ ← 84 名 ← 110 名 ← 96 名）
- (4) 賛助会員： 55 団体 （ ← 55 団体 ←55 団体 ← 55 団体）
- (5) 購読会員： 37 団体 （ ← 38 団体 ←40 団体 ← 39 団体）

※ 学生会員に対する会費の優遇措置を、2015 年度より実施

平成28(2016)年度 収支報告書

(平成28年 8月 1日 ~ 平成29年 7月31日)

日本緑化工学会

	費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (B-A)	対予算割合 (B÷A×100)	摘 要
収入の部	正会員費	4,800,000	4,176,000	-624,000	87.00	正 会 員 606名 / 今年度入金 519名 (@8,000)
	正会員費・未収金		368,000			過年度分入金 44名
	賛助会員費	1,925,000	1,890,000	-35,000	98.18	賛助会員 55団体 / 今年度入金 54団体 (@35,000)
	賛助会員費・未収金		35,000			1件
	購読会員費	304,000	296,000	-8,000	97.37	購読会員 37団体 / 今年度入金 37団体 (@8,000)
	購読会員費・未収金		16,000			2件
	学生会員費	380,000	220,000	-160,000	57.89	学生会員 99名 / 今年度入金 55名 (@4,000)
	学生会員費・未収金		44,000	44,000		過年度分入金 11名
	入会登録料	35,000	43,400	8,400	124.00	62名 (@700)
	投 稿 料	700,000	895,000	195,000	127.86	通常号(論文・短報)、大会号(論文技術報告)
	広 告 料	1,350,000	1,435,000	85,000	106.30	Vol.42-1 ~ Vol.42-4 分
	雑 収 入	1,300,000	1,815,035	515,035	139.62	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、第47回京都大会補助費返金、利息等
	小 計	10,794,000	11,233,435	439,435	104.07	
	繰 越 金	3,989,612	3,989,612			
	合 計	14,783,612	15,223,047	439,435	102.97	
支出の部	会 議 費	70,000	66,106	-3,894	94.44	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	800,000	900,910	100,910	112.61	理事会交通費
	事務人件費	300,000	324,164	24,164	108.05	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通 信 費	750,000	772,299	22,299	102.97	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	120,000	159,515	39,515	132.93	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,000,000	6,243,183	243,183	104.05	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版分担金
	大会補助費	150,000	21,450	-128,550	14.30	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	200,000	300,000	100,000	150.00	
	研究部会補助費	100,000	105,100	5,100	105.10	
	委員会等経費	100,000	161,550	61,550	161.55	編集委員会、大会誌編集委員会
	事務委託費	1,850,000	1,877,688	27,688	101.50	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	70,000	70,000	0	100.00	管理経費
	諸会費	150,000	160,000	10,000	106.67	JABEE、JAFEE、防災学術連携体
	震災特別対策費	50,000	48,112	-1,888	0.00	震災調査費用
	雑費	50,000	51,517	1,517	103.03	振込手数料 他
	小 計	10,760,000	11,261,594			
	予備費	4,023,612	3,961,453	-62,159	98.46	慶弔費 他
	合 計	14,783,612	15,223,047	439,435	102.97	
次期繰越金			3,961,453			

平成28年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成29年9月11日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治



平成28(2016)年度 貸借対照表 (和文誌・英文誌)

平成29年 7月 31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	82,688	前受け会費	166,816
預 け 金	3,454,937	未払い費用	475,042
前 払 金	276,150	英文誌繰越金	-321,186
未 収 金	468,350	次期繰越金	3,961,453
合 計	4,282,125	合 計	4,282,125

－ 財 産 目 録 －

資産の部

科 目	摘 要	金 額
現 金	事務局	82,688
預 け 金	みずほ銀行 本郷支店	883,275
	本郷郵便局	2,571,662
	小 計	3,454,937
前 払 金	英文誌購読費 13巻2号	276,150
	小 計	276,150
未 収 金	BN販売	6,350
	別刷り代	29,000
	投稿料、会費	73,000
	広告費	360,000
	小 計	468,350
合 計		4,282,125

負債の部

科 目	摘 要	金 額
前受け会費	正会員	85,016
	学生会員	75,500
	入会登録料	2,100
	学生会員(英文誌)	4,200
	小 計	166,816
未払費用	会議費	5,620
	事務委託費	469,422
	小 計	475,042
合 計		641,858

－ 会 計 監 査 報 告 －

平成28年度(平成28年 8月 1日 ～ 平成29年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成29年 9月 11日

平成28年度 日本緑化工学会

監事

同上

監事

小林 達明
中野裕司

平成28(2016)年度 日本緑化工学会(英文誌)

【収支報告書】 平成28年 8月 1日～ 平成29年7月31日

	費 目	予算額	決算額	差額	摘要
収入	正会員費	588,000	543,900	-44,100	購読者 78名/今年度入金 73名
	学生会員費	8,400	12,600	4,200	購読者 4名/今年度入金 3名
	①収入計	596,400	556,500	-39,900	
支出	購読費 LEE誌	610,000	555,975	-54,025	購読料(12巻2号、13巻1号)
	諸会費 2017年	150,000	150,000	0	ICLEE運営事務負担金
	②支出計	760,000	705,975	-54,025	
A. 当期収支 (①-②)			-149,475		
B. 前期 繰越金		-171,711	-171,711		
次期 繰越金 (A+B)			-321,186		

— 会計監査報告 —

平成28年度(平成28年 8月 1日 ～ 平成29年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成 29年 9 月 11 日

平成28年度 日本緑化工学会

監事

小林達明 

同上

監事

中野裕司 

第三号議案

日本緑化工学会 平成 29 年度事業計画（案）

（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）

1. 第 48 回日本緑化工学会大会・ELR2017 名古屋

開催年月日：平成 29 年 9 月 22 日～25 日

開催地：名古屋大学 東山キャンパスほか（愛知県名古屋市）

発表題数：305 題（論文、技術報告、研究交流発表）

（口頭発表 72 件、ポスター発表 233 件）＋ICLEE 発表 11 題

JSRT 発表 論文 30、技術報告 44、研究交流 57

公開シンポジウム「自然の仕組みを暮らしに賢く活かす－グリーンインフラへの招待」（9 月 24 日）

国際シンポジウム「Landscape and Green Infrastructure, a key to sustainability」（9 月 23 日）

エクスカーション（9 月 25 日）

国際コンソーシアム ICLEE の第 8 回大会 を同時開催

※ 第 49 回大会は平成 30（2018）年 9 月 15-17 日に東京都市大学にて開催予定

2. 研究会等

(1) ELR2017 名古屋 研究集会

企画者：森本淳子・根岸淳二郎

開催年月日：平成 29 年 9 月 23 日 13：30～15：30

開催地：名古屋大学 レクチャーホール（愛知県名古屋市）

テーマ：「人為改変された生態系のレジリエンス～生き物の回復力～」

(2) 斜面緑化研究部会 ELR2017 名古屋にて研究集会を企画

開催年月日：平成 29 年 9 月 22 日 17：15～19：15

開催地：名古屋大学環境総合館 講義室 2（愛知県名古屋市）

テーマ：「斜面緑化におけるシカ被害の現状と課題（生物多様性保全に配慮した緑化事例勉強会・第 6 回）」

(3) 生物多様性緑化研究部会 ELR2017 名古屋にて研究集会を企画

開催年月日：平成 29 年 9 月 22 日 15：00～17：00

開催地：名古屋大学 ES ホール（愛知県名古屋市）

テーマ：「ポテンシャルに対応した多摩川河川敷の目標とする自然の変化と合意形成の可能性」

(4) 緑・健康研究部会 ELR2017 名古屋にて研究集会を企画

開催年月日：平成 29 年 9 月 23 日 13：30～15：30

開催地：名古屋大学 ES 館 021（愛知県名古屋市）

テーマ：「公衆衛生からみたグリーンインフラ」

(5) 生態・環境緑化研究部会

① ELR2017 名古屋にて研究集会を企画

開催年月日：平成 29 年 9 月 23 日 13：30～15：30

開催地：名古屋大学 ES ホール（愛知県名古屋市）

テーマ：「緑化用種苗のトレーサビリティをいかに確保するのか」

② 「阿蘇小規模崩壊地復元プロジェクト」の企画・実施

http://www.jsrt.jp/tech/ASO_project.html

(6) 乾燥地緑化研究部会 第 23 回シンポジウムを企画

テーマ：「乾燥地の生態系とその課題」（詳細は検討中）

開催年月：未定（平成 30 年開催予定）

(現在活動中の緑化工研究部会)

斜面緑化研究部会

都市緑化技術研究部会

生態・環境緑化研究部会

乾燥地緑化研究部会

積雪寒冷地緑化研究部会

生物多様性緑化研究部会

緑・健康研究部会

防災緑化研究部会

テーマ別のワーキンググループ

○ 防災緑化研究部会／海岸・沿岸地ワーキンググループ

3. シンポジウム

年 1 回以上開催予定 (詳細検討中)

4. 現地見学会

年 1 回以上開催予定 (詳細検討中)

5. 学会誌の発行：4 回発行予定 (第 43 巻 1 号～4 号)

第 43 巻 1 号 (既刊)：平成 29 年 8 月 31 日発行 (第 48 回大会特集号) 351 ページ

第 43 巻 2 号：平成 29 年 11 月末 発行予定

第 43 巻 3 号：平成 30 年 2 月末 発行予定

第 43 巻 4 号：平成 30 年 5 月末 発行予定

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行：2 回発行予定 (Vol. 14 No. 1, No. 2)

7. 学会賞の授与

平成 29 年度日本緑化工学会賞の授与 (平成 30 年総会にて授与予定)

8. CPD

(1) CPD 行事の認定と CPD ポイントの付与, CPD 参加証明書の発行

(2) 会員の拡大・新会員への CPD カード発行

(3) HP の更新

(4) 必要に応じ理事会, 検討部会, 認定委員会を開催 (通常の打合せは E-mail にて行う)

9. 学会広報事業

(1) HP 運営ワーキンググループによるホームページの運営

(2) 会員向け連絡メールマガジンの配信、体制確保

(3) 公式ブログの運営と記事の企画・収集 <http://blog.canpan.info/jsrt/>

10. その他

学会設立 30 周年事業の企画検討

平成29(2017年度) 収支予算書 < 案 >

(平成29年 8月 1日 ~ 平成30年 7月31日)

日本緑化工学会

	費 目	H29年度 予算額 (A)	H28年度 予算額 (B)	差額 (A-B)	摘 要
収入の部	正会員費	4,550,000	4,800,000	-250,000	会員数 595名 (@8,000)
	賛助会員費	1,925,000	1,925,000	0	会員数 53団体 (@35,000)
	購読会員費	304,000	304,000	0	会員数 38団体 (@8,000)/内 1団体2口
	学生会員費	243,600	348,000	-104,400	会員数 87名 (@4,000)
	入会登録料	35,000	35,000	0	50名 (@700)
	投 稿 料	800,000	700,000	100,000	
	広 告 料	1,450,000	1,350,000	100,000	Vol.43-1~Vol.43-4
	雑 収 入	1,450,000	1,300,000	150,000	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小 計	10,757,600	10,762,000	-4,400	
	前年度繰越金	3,640,267	3,817,901	-177,634	
	合 計	14,397,867	14,579,901	-182,034	
支出の部	会 議 費	65,000	70,000	-5,000	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	800,000	800,000	0	理事会交通費
	事務人件費	300,000	300,000	0	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通 信 費	750,000	750,000	0	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	120,000	120,000	0	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,000,000	6,000,000	0	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版分担金
	大会補助費	150,000	150,000	0	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	200,000	200,000	0	
	研究部会補助費	100,000	100,000	0	
	委員会等経費	100,000	100,000	0	編集委員会、大会誌編集委員会
	事務委託費	1,850,000	1,850,000	0	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	70,000	70,000	0	管理経費
	諸会費	160,000	150,000	10,000	JABEE、JAFEE、防災学術連携体
	震災特別対策費	50,000	50,000	0	震災調査費用
	雑費	50,000	50,000	0	振込手数料 他
	小 計	10,765,000	10,760,000	5,000	
	予備費	3,632,867	3,819,901	-187,034	慶弔費 他
	合 計	14,397,867	14,579,901	-182,034	

平成29年9月11日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治



平成29(2017)年度 日本緑化工学会英文誌収支予算<案>

【収支報告書】 平成29年 8月 1日～平成30年7月31日

	費 目	平成30年度予算額	平成29年度予算額	摘要
収 入	正会員費	545,000	588,000	購読者 76名
	学生会員費	12,500	25,200	購読者 5名
	合 計	557,500	613,200	
支 出	諸会費	556,000	613,200	LEE購読料(13巻2号、14巻1号)
		150,000	150,000	ICLEE運営事務負担金
	合 計	706,000	763,200	

平成29年9月11日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治

